取扱説明書

デジタル液晶テレビ【9型】

ディ・ティ・ブイ
商品型番：**DTV-901**

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機は日本国内の地上デジタル放送に対応したテレビ受信機です。
他国ではご利用いただけません。

もくじ

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

禁止

交流100V以外の電圧では使用しない
付属のACアダプタは、自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

プラグを抜く

コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

水ぬれ禁止

水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

禁止

歩行中や運転中は使用しない
交通事故の原因となります。

禁止

風呂・シャワー室で使わない
漏電によって感電や発火の原因となります。

禁止

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電の恐れがあります。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

禁止

雷が鳴ったら屋外で使わない
落雷のおそれがあります。

指示

点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

注意

禁止

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

禁止

ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

禁止

温度の異常に高い場所で使用しない
また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

禁止

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

プラグを抜く

電源コードをコン、セントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

禁止

画面が破損し、液体がもれた場合は、液体を吸い込んだり飲んだりしない
中毒を起こす恐れがあります。
万が一、口や目に入った場合は、水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
手や服に付いてしまった場合は、アルコールなので拭き取り、水洗いしてください。

指示

移動するときは接続しているコードをすべて外す
コードが傷付き、火災・感電の原因になります。

指示

ACアダプタと電源コードは付属のものを使用すること
指定以外のAVアダプタ、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。

指示

日本国内のみ使用
この製品が使用できるのは日本国内のみです。海外では放送形式・電圧が異なりますので、使用できません。

禁止

直射日光や熱気を避ける
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。
・窓を閉め切った自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

禁止

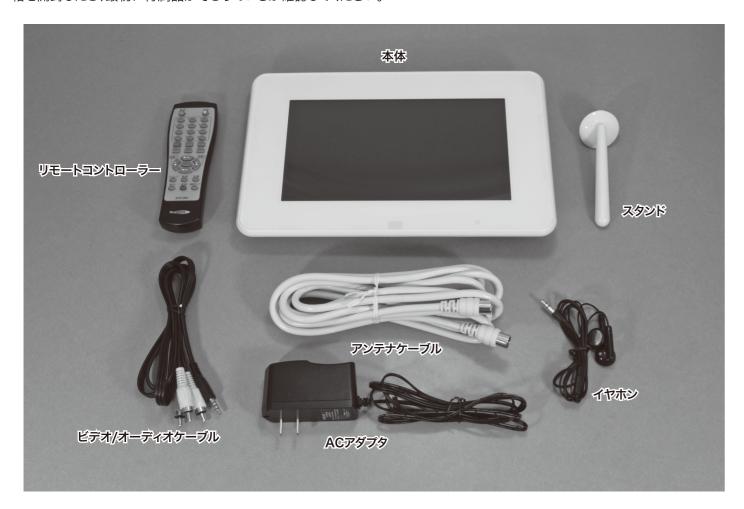
低温になる場所に放置しない
キャビネットの変形や故障の原因となります。

禁止

電磁波妨害に注意
本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害により映像が乱れたり、雑音が発生する場合があります。

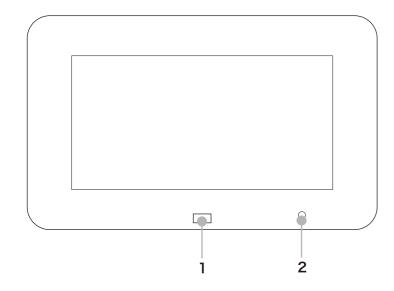
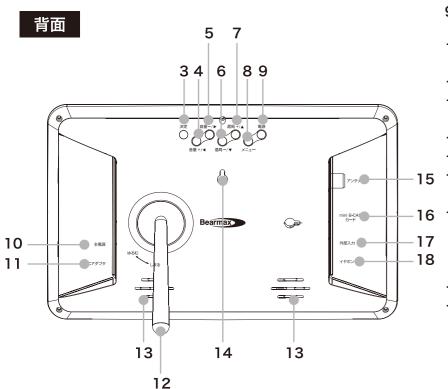
付属品を確かめる

箱を開封したら、最初に付属品がそろっているか確認してください。

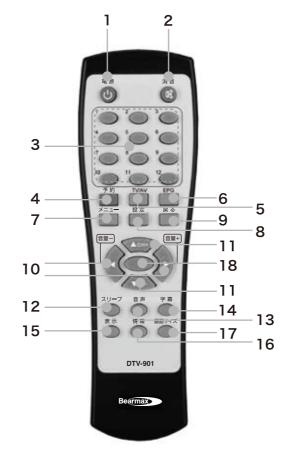
主な仕様

電源:	本体:AC100V 50/60Hz　DC12VA 1A リモコン:単4乾電池×2本
消費電力:	10W
実用最大出力:	1W+1W
受信周波数:	470〜770MHz
画面サイズ:	9型ワイドTFT液晶パネル
入力端子:	アンテナ接続端子 AV入力端子 電源入力端子 miniB-CASカード用スロット
出力端子:	イヤホン出力端子
解像度:	800×480　RGB
輝度:	220cd
コントラスト比:	400:1
最大外形寸法　(約):	本体のみ:幅270X奥34X高175mm スタンドを取付けた場合:幅270X奥107X高172mm
質量(約):	本体のみ:640g スタンドを取付けた場合:645g
付属品	スタンド、リモートコントローラー、ビデオ/オーディオケーブル、アンテナケーブル、ACアダプタ、イヤホン、リモコン用単4乾電池×2、取扱説明書(本誌)

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

各部のなまえ/本体

前面

1.リモコン受光部
この部分にリモコンを向けて操作します。
2.電源表示
本機の状態を表示します。
緑:電源入
赤:電源切
3.決定
設定を確定します。
4.音量+(プラス)/選択◀
音量を小さくします。/左に移動します。
5.音量ー(マイナス)/選択▶
音量を小さくします。/右に移動します。
6.選局ー/選択▼
前の放送局に移動します。/下に移動します。
7.選局+/選択▲
次の放送局に移動します。/上に移動します。
8.メニュー
メニュー画面を表示します。
9.電源
電源の入切をします。
10.主電源
主電源の入切をします。
11.ACアダプタ入力端子
12.スタンド接続部
付属のスタンドを取付けます。
13.スピーカー
14壁掛用穴
15.アンテナケーブル接続端子
付属のアンテナケーブルを接続します。
16.miniB-CASカード挿入部
付属のminiB-CASカードを挿入します。
※正しい向きを確認して挿入してください。
(8ページ)
17.外部入力端子
18.イヤホン端子

背面

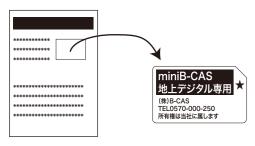
各部のなまえ/リモコン

1.電源
電源の入切をします。
2.消音
音を消します。
3.数字ボタン
放送局を入力します。
4.予約ボタン
放送番組を視聴予約します。
5.TV/AV入力切換
テレビ放送と外部入力の切り替えをします。
6.EPG/番組表
見ている放送局の番組表を表示します。
7.メニュー
メニュー表示します。
8.設定
画面設定を表示します。
9.戻る
前の動作に戻ります。
10.音量+/ー
音量を上下します。
11.CH+/ー
放送局を移動します。(※登録順と放送局番は異なります。)
12.スリープ
設定した時間に電源が切れます。
13.音声
主音声/副音声の切り換えをします。
14.字幕
字幕表示の切り替えます。(※字幕放送のみ)
15.表示
現在の放送局を表示します。
16.情報
現在の放送局の情報を表示します。
17.画面サイズ
画面の比率を変えて表示します。
18.決定
設定した内容を確定します。

リモコンの電源を準備/交換する

1.リモコンの電池カバー押し下げ、カバーを手前に引きます。
2.単4乾電池2本を、+プラス/ーマイナス表示の通り、マイナス側を先に入れてからプラス側を入れます。
3.電池カバーを元に戻します。

ご注意!
・指定以外の電池はご使用にならないでください。
・使い切った電池は直ちに本体より取出してください。
・ショートさせたり、分解、加熱、火の中への投入はしないでください。
・電池を飲み込まないよう、お子さまの手が届かないところに保管してください。
・電池の液漏れが皮膚や衣類についた場合は、直ちに水で洗い流してください。

付属品を取付ける

①miniB-CAS カードを挿入する

1.miniB-CAS カードの台紙の内容を一読し、
同意された上で miniB-CAS カードを外します。

背面

2.miniB-CAS カードを上図の向きで、本体背面にある
miniB-CAS カード用スロットにカチッとするまで
挿し込みます。

ご注意！

・miniB-CASカードの金属端子には触れないでください。
・miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷づけたり、濡らしたりしないでください。
・miniB-CASカードを分解したり、加工したりしないでください。
・miniB-CASカード以外のものを本機に挿入しないでください。
・miniB-CASカードをスムーズに挿入できないときは、無理やり押し込まず、ゆっくりと入れ直してください。
・本機を使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないでください。
・miniB-CASカードを抜く場合は、テレビの電源を切り、ACアダプタを外してから、ゆっくり引き抜いてください。

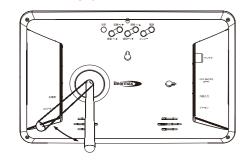
破損・紛失などによりminiB-CASカードの再発行が必要な場合は
詳しくはminiB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカスタマーセンター」にご連絡ください。
B-CASカスタマーセンター（10：00～20：00年中無休）
TEL 0570-000-250（IP電話からの場合は、045-680-2868
＊その他miniB-CASカードに関するお問い合わせはB-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

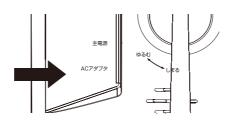
②アンテナを取付ける

1. 本体背面にあるアンテナ接続端子に
付属のアンテナケーブルを差し込み、
アンテナのナット部を回してしっかりと締めます。

2. アンテナケーブルのもう一方を壁面アンテナ端子に
挿し込みます。

＊1つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分配器をご使用ください。

③スタンドを取付ける

1.本体背面のスタンド穴にスタンドの凹凸を合わせて
挿し込みます。
2.「しまる」の方向にスタンドを回します。
外すときは、「ゆるむ」の方向にスタンドを回します。

④AC アダプタを接続する

本体側面の電源端子に、ACアダプタの接続部を
しっかりと差し込み、プラグ部をコンセントに差し込みます。
テレビ画面に貼ってある保護シールを外します。

チャンネルを設定する

①アンテナが正しく接続されているか確認する（8ページ参照）

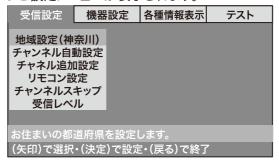
②本体背面の主電源を下にスライドする

背面

③【電源ボタン】を押す

本体の電源表示が緑色に点灯します。
＊購入直後は「チャンネル設定を行ってください」というメッセージが表示されます。

④【メニューボタン】を押す

テレビ設定メニューが表示されます。

⑤住んでいる地域を選ぶ

「地域設定」が選択された状態でリモコンの【決定ボタン】を押します。
例：神奈川県の場合
1.【▼ボタン】で「関東」を選択後、【決定ボタン】を押す。
2.【▼ボタン】で「神奈川」を選択後、【決定ボタン】を押す。

⑥受信する

リモコンの【▼ボタン】で「チャンネル自動設定」を選択し、【決定ボタン】を押します。
「探す（全チャンネル）」を選択し、【決定ボタン】を押します。初期スキャンが始まります。

⑦チャンネルを表示する

受信するチャンネルが表示されたら、「更新する」を選択し、【決定ボタン】を押します。
【戻るボタン】を押すとテレビ画面になります。

地デジとは

地上デジタル放送の略称です。2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は
地上デジタル放送に切り替わります。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、ゴーストのないクリアな映像を
実現するだけでなく、電子番組表の表示や字幕の表示といったあたらしいサービスも提供しています。
＊本機は「BSデジタル放送」や「110度CSデジタル放送」など衛星放送、および「地上アナログ放送」の受信には対応していません。
＊本機は地上デジタル放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応しておりません。

ご注意！

・地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、
ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信しいていることが必要です。
・電波が弱い場所では、増幅器（ブースター）を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は
減衰器（アッテネーター）をご利用ください。
・次の場所や地域では受信できない場合があります。
1.電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱い
または不安定、または届かない場合。
2.妨害波や電磁雑音が多い場合。
・地上デジタル放送の知識やサービスエリアに関する情報は「社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）までお問い合わせ
ください。
社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）：http://www.dpa.or.jp/
総務省地デジコールセンター：0570-07-0101

テレビを観る

＊必ず最初にチャンネル設定（9ページ）を行ってください。

1.電源
電源の入切をします。

2.消音
音を消します。再度押すと元に戻ります。

3.数字ボタン
放送局番を入力します。

4.予約
番組予約（視聴予約）を行います。
①【EPGボタン】を押します。番組表が表示されます。
②【◀▶▲▼ボタン】で番組を選び【予約ボタン】を押します。
ご注意！
※録画機能ではありません。
※1回につき1番組のみ予約できます。
※解除するときは、指定した番組をもう一度選択してください。
※外部入力モード中、もしくは外部入力モードで電源を切った場合は、機能しません。

5.TV/AV 入力切換
ワンセグ放送と外部入力の切り替えをします。
AV：接続した外部機器の入力に切り換ります。
TV：テレビ放送に切り換ります。

6.EPG（番組表）
現在見ている放送局が予定している番組の確認ができます。

7.メニュー
メニュー表示します。（12ページ参照。）

8.設定
ボタンを押すたびに下記メニューが表示されます。
【◀▶ボタン】で、"0～100"に設定します。
明るさ／コントラスト／色調

9.戻る
テレビモードに戻ります。
メニュー設定中は、前のメニューに戻ります。

10.音量＋（プラス）／ー（マイナス）
音量を上下します。

11.選局＋（プラス）／ー（マイナス）
他の放送局に移動します。
※登録順と放送局番は異なります。

12.スリープ
指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
0～240（分）

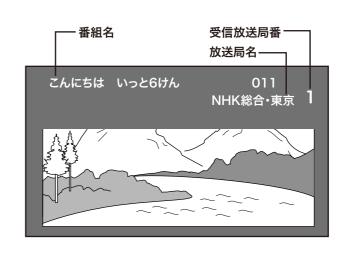
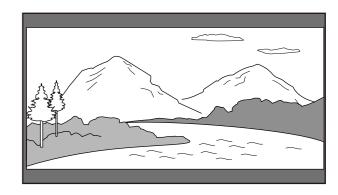
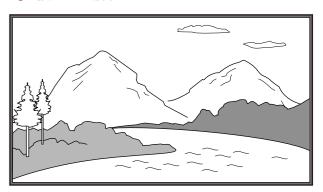
13.音声
主音声/副音声を切り替えます。
「主1」：主音声を聞きます。
「副1」：解説などの副音声を聞きます。
「主／副1」：主音声と副音声を同時に聞きます。

ご注意！
・デジタル放送の二重音声が主音声のみの場合は、「副1」や「主／副1」に設定していても、主音声が出力されます。

14.字幕
字幕情報を画面に表示します。

ご注意！
・デジタル放送に字幕情報が含まれていない場合は、「字幕1」/「字幕2」に設定していても、字幕は表示されません。
・デジタル放送に含まれる字幕情報が1種類の場合は、「字幕1」「字幕2」のどちらに設定していても、同じ字幕が表示されます。

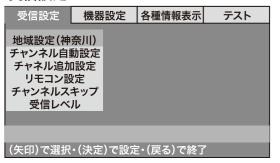
15.表示
現在の放送局を表示します。

16.情報
現在の放送情報の表示をします。

17.画面サイズ
画面の比率を変えて表示します。
＊「ノーマル」を設定した場合

＊「フル」を設定した場合

＊「ズーム」を設定した場合

18.決定
設定した内容を確定します。

各種設定

リモコンの【メニューボタン】で次の設定ができます。
【▲▼◀▶ボタン】でメニューを選択し、【決定ボタン】を押します。前のメニューに戻るときは【戻るボタン】を押します。

受信設定

地域設定
お住まいの地域を設定します。
チャンネル自動設定
お住まいの地域設定に合わせて受信できるチャンネルを自動的に設定します。
チャンネル追加設定
放送局を追加するときに再設定します。
リモコン設定
リモコン番号を選んでお好きな放送局を割り当てます。
チャンネルスキップ
受信できる放送局でも視聴しない放送局を、
リモコンで選局をスキップするように設定します。
受信レベル
選択した放送局の受信レベルを表示します。

各種情報表示

B-CAS情報
お使いのB-CASカードの情報を表示します。
バージョン情報
お使いの機器のソフトウエアバージョンを表示します。
放送メール
放送局から送られてくるメール情報や本機の更新情報などを表示します。

機器設定

暗証番号
暗証番号を設定します。工場出荷時の設定は「9999」になっています。
字幕・文字スーパー
字幕と文字スーパーの表示切り換えを設定します。
　なし、第1言語、第2言語
音声切換
音声出力を切り換えします。
　主音声、副音声、主+副
番組表取得設定
番組表を取得するかしないか設定します。
　取得する、取得しない
画面サイズ設定
画面比率の設定をします。
　ノーマル、ワイド

テスト

B-CASテスト
B-CASカードの動作をテストします。
全設定消去
工場出荷時の設定に戻します。4桁の暗証番号を入力します。

外部入力で映像を見る

付属のビデオ／オーディオケーブルを使い、DVDプレーヤーと接続して映画を観たりなど、接続した外部機器の映像を見ることができます。

①本機と外部機器を接続する
付属のビデオ／オーディオケーブルの黄色端子を外部機器の映像出力へ、白／赤色端子を音声出力へ接続します。
黒色端子を本機背面にある外部入力端子へ接続します。

②入力を切り換える
リモコンの【TV/AVボタン】を押して外部入力モードに切り換えます。テレビに「AV」が表示されます。

③外部機器の再生ボタンを押す
映像が再生されます。

④音量を調節する
接続した外部機器の音量を上げてから、本機で音量を調節してください。

イヤホンで楽しむ

付属のイヤホンを接続して音声を楽しむことができます。

付属のイヤホンを、本機の【イヤホン端子】に接続します。

※お手持ちのイヤホン/ヘッドホンも接続できます。
　ご使用の際は、3.5mmミニジャックの入力端子をお使いください。

輸入・総発売にご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・本機のACアダプタ入力端子にACアダプタコードをしっかりと差込んでください、 ・本体の電源が"入"になっているか確認してください。
音が聞こえない	・消音になっていないか確認してください。 ・イヤホンが挿入されていないか確認してください。 ・音量を大きくしてください。
音がひずむ	・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
映像が映らない	・アンテナケーブルがきちんと接続されているか、ケーブルが破損していないか確認してください。 ・受信レベルが低すぎるか高すぎる可能性があります。受信レベルを表示して確認してください。60%以上が推奨値です。(12ページ) 分配器をご利用の場合は外して直接接続してみてください。 ・UHFアンテナが設置されているか、アンテナの向きが正しいか確認してください。 ・ケーブルテレビにて地上デジタル放送を再送信されている場合は、ケーブルテレビが「CATVパススルー方式」で送信しているか確認してください。
映像が乱れたり途切れたりする	・受信レベルが低いときや不安定なときは、映像がモザイク状に乱れたり、途切れたりすることがあります。受信レベルを表示して確認してください。60%以上が推奨値です。(12ページ) ・アンテナケーブルの接続が正しいか確認してください。
リモコンが操作できない	・リモコンの電池が消耗していないか確認してください。 ・リモコンの電池の向き(プラス/マイナス)が正しいか確認してください。 ・リモコンはテレビ前面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

液晶画面について

・本機のメニュー画面などの静止画を液晶画面に表示したまま長時間放置しないいでください。液晶画面に残像現象(画像の焼き付き)を起こす場合があります。
・液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。

ACアダプタについて

・付属のACアダプタをご使用ください。付属以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。
・ACアダプタをご使用時は、以下の点にご注意ください。
　＊ACアダプタは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかに電源コンセントから抜いてください。
　＊ACアダプタを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
　＊火災や感電の危険を避けるために、ACアダプタを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACアダプタの上に花瓶など水が入った物を置かないでください。
・電源コンセントを抜くときは、必ずACアダプタの本体部を持って抜いてください。
・本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

イヤホンについて

・イヤホンをご使用中肌に合わないと感じときは、早めに使用を中止して医師にご相談ください。
・イヤホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。
音量を上げすぎて回りの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしましがちですが、イヤホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

取り扱いについて

・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
・次のような場所には置かないでください。
　＊温度が非常に高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)。
　＊直射日光のあたる場所や暖房機器の近く。
　＊窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
　＊風呂場など、湿気の多い所。
　＊ほこりの多い所。
・本機の内部に液体や異物を入れないでください。
・本機は防水仕様ではありません。濡れた手で触ったり、水がかからないようにご注意ください。内部に水が入ると、故障の原因となります。
・液晶画面に物をのせたり落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
・本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶画面に結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
液晶画面が冷えきっているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。結露が生じたときは結露が無くなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。跡がついたり、変色などの原因となります。
・キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
・本機に、異物が入ったり、静電気がとばないように十分注意してご使用ください。故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水やぬるま湯に浸した布をよく絞り拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使用しないでください。

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	デジタル液晶テレビ【9型】　商品型番：DTV-901
保証期間	お買い上げ日から１年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
・ 正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・ 保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・ 故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・ 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・ お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障
　および損傷は保証の対象外となります。
・ 保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・ この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。
※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に
　保管してください。
※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17

TEL　：045-401-7486
FAX　：045-435-0057
E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

201103